

H22. 7. 16
文化財課 庶務・文化財管理 G
内線 5634
直通 225-1841

重要無形文化財保持者の追加認定について

平成22年7月16日(金)に開催された国の文化審議会(会長 にしはらすずこ 西原鈴子)は、次の事項について文部科学大臣に答申した。

○ 重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定 (今回認定5人)

本県関係 2人

重要無形文化財「ゆうぜん友禅」保持者の追加認定

ふたつか 二塚 おさお 長生 (満63歳) [金沢市]

昭和42年から金沢市内の加賀友禅の工房で修業を始める。
昭和49年友禅作家として独立、日本伝統工芸展等において受賞を重ねる。
平成18年紫綬褒章。

重要無形文化財「まきえ蒔絵」保持者の追加認定

なかの 中野 こういち 孝一 (満63歳) [野々市町]

昭和44年から47年まで大場松魚に師事。
日本伝統工芸展等において受賞を重ねる。
平成元年から石川県立輪島漆芸技術研修所講師。
平成17年紫綬褒章。

重要無形文化財保持者の追加認定について

- 1 今回の答申どおり認定されれば、県内の国重要無形文化財は10件(各個認定(いわゆる人間国宝)9人、保持団体認定1件)となり、国指定文化財の総数は208件となる。
- 2 全国の「友禅」分野の重要無形文化財の認定者は、今回の答申を含めて3件(本県では、現在認定者なし。過去には、木村文二(故人)が認定。)
全国の「蒔絵」分野の重要無形文化財の認定者は、今回の答申を含めて3件(本県では、現在1人(大場勝雄)。過去には、寺井直次(故人)が認定)

(参考) 本県の重要無形文化財

認定年月日	名 称	保持者または保持団体(雅号)
昭和52年4月25日	輪 島 塗	輪島塗技術保存会
昭和57年4月20日	蒔 絵	大場 勝雄(大場 松魚)
平成6年6月27日	木 工 芸	川北 良造
平成11年6月21日	沈 金	前 史雄
平成13年7月12日	釉裏金彩	吉田 稔(吉田 美統)
平成14年7月8日	銅 鑼	魚住 安彦(三代 魚住 為楽)
平成16年9月2日	彫 金	中川 衛
平成18年9月15日	髹 漆	小森 邦博(小森 邦衛)
今回答申	友 禅	二塚 長生
〃	蒔 絵	中野 孝一
以上 10件 (各個認定9件、保持団体認定1件)		